

古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語



両宮山古墳

県内第3位の大きさの古墳で、墳丘の周囲には水をたたえた内濠、中堤をはさんで外側に外濠があったことがわかっており、総長 349mにおよぶ広大な墓域をもつ。墳丘には葺石、埴輪は見られない。

MAP 1

卓越した規模を誇る両宮山古墳は吉備の有力豪族の墓と考えられ、この築造をきっかけに中～大形の古墳が周辺に相次いで築かれました。両宮山古墳とほぼ同時期あるいは直後に、和田茶臼山古墳・森山古墳・正免東古墳が隣接して築かれており、両宮山古墳の主と関わりの深い人物が葬られていると考えられます。また、その後も周辺に代々の首長の墓とみられる朱千駄古墳・小山古墳・廻り山古墳が順次築かれており、安定した勢力基盤があったことがうかがえます。

正免東古墳



削平により詳細な形や規模は不明。発掘で墳丘裾の葺石が検出された。

朱千駄古墳



後円部に納められた石棺から大量の朱とともに、銅鏡、玉類、鉄器類が出土した。

小山古墳



後円部の墳頂に九州の阿蘇地域産の石材を使用した古式家形石棺の破片がみられる。

廻り山古墳



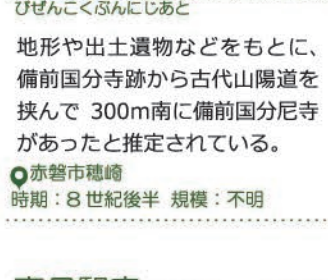
墳丘は畑の開墾が著しいが、北へ大きく開いた前方部を確認できる。

和田茶臼山古墳



周濠をめぐらせ、葺石・埴輪を伴う。両宮山古墳に続く首長墳と考えられる。

森山古墳



周濠をめぐらせ、葺石・埴輪を伴う。両宮山古墳に続く首長墳と考えられる。

伝説の背景 - 吉備の繁栄を示す巨大古墳 -

吉備津彦命による鬼退治伝説は、実は大和と吉備の対立を反映したものとされます。『古事記』・『日本書紀』の記述などから、吉備はしばしば大和に対抗し屈服していたとみられ、こうした歴史をもとに温羅が吉備津彦命と戦い敗れるという伝説が生まれたようです。また、吉備が大和に対抗しうる強大な勢力であったことは、巨大な墓の存在からうかがえます。特に「吉備の三大古墳」と呼ばれる造山古墳(岡山市)・作山古墳(総社市)・両宮山古墳(赤磐市)は、小高い山と見間違えほどの大きさで近畿地方の大王墓にも匹敵します。このうちの一つ、赤磐市の両宮山古墳は二重周濠をめぐらせる広大な墓域をもつことがわかっています。周辺には中～大形の古墳が集中し、西方約 3.5km には「吉備の三巨石墳」の一つに数えられる牟佐大塚古墳(岡山市)も築かれています。これらの歴史遺産は、赤磐一帯にも大きな勢力が存在していたことを示しており、鬼退治伝説成立の背景となった吉備の繁栄を感じさせてくれます。

両宮山古墳周辺の日本遺産



岡山の桃 出時期：6～9月

赤磐の桃 出時期：6～9月

桃畑 花の見ごろ：3月下旬～4月上旬

両宮山古墳 → 5分



全長 18mにおよぶ長大な横穴式石室が築かれた大形の円墳で、奥壁には高さ 2.5m を超える巨大な一枚岩が使われている。こもり塚古墳(総社市)、箭田大塚古墳(倉敷市)とともに「吉備の三巨石墳」と呼ばれる。

岡山市北区牟佐 全長：30m 時期：6世紀末 墳形：円墳 (古墳時代後期) 両宮山古墳 → 8分

両宮山古墳に隣接する大寺院



奈良時代には、両宮山古墳に隣接して備前国分寺が建てられました。備前国分寺は聖武天皇の勅願により 60 余国の国ごとに建立された国分寺の一つで、現在の県南東部にあたる備前国を代表する寺院でした。古代の幹線道路である山陽道に面して建てられており、付近には馬の乗り継ぎなどを行う高月駅家もあったようです。壮麗な寺院と巨大古墳の立ち並ぶこの一帯は、多くの人々が行き交う交通の要衝であり、両宮山古墳の築かれた時代以降も重要な地域であったと考えられます。

足巻のぼして..



熊山遺跡 県南最高峰の熊山(標高約 500m)の山上に築かれた石積遺構。基壇上に三段の石積が階段状に重なる。奈良時代の仏塔と考えられている。

赤磐市熊山 規模：基壇部分で 時期：奈良時代 辺約 12m 両宮山古墳 → 40分

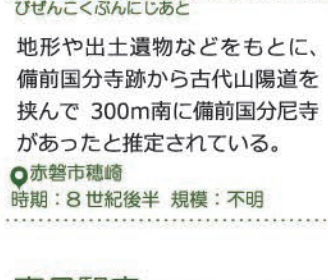
備前国分寺跡



発掘調査により建物の規模や配置が明らかとなっており、寺院に関する出土品が多数見つっている。現在、復元整備を進めており、塔跡と講堂跡では実物大の復元基壇で建物の大きさを体感できる。

赤磐市馬屋 寺域：東西 180m 時期：8世紀後半 南北 200m

備前国分尼寺跡



地形や出土遺物などをとに、備前国分寺跡から古代山陽道を挟んで 300m南に備前国分尼寺があったと推定されている。

赤磐市馬屋 規模：不明 時期：8世紀前半

赤磐市の歴史を学ぶなら



赤磐市山陽郷土資料館 両宮山古墳の情報や赤磐市内の縄文～室町時代までの考古資料を紹介しており、市内の歴史を詳しく知ることができる。

赤磐市下市 337 月・祝・年末年始 9:00～17:00 無料 (入館は16:30まで) 086-955-0710 両宮山古墳 → 6分